現場で身に付けた技術を以て お客様に喜ばれる施工を目指す

椎名住建

茨城県常陸太田市久米町 1621-2

古き良き伝統建築から、新たな技術を取り入れた現代建築まで、あらゆる家づくりを手掛ける『椎名住建』。同所の椎名代表は、これまでに様々な現場での施工に携わってきた経験から、お客様の要望に合わせた施工を実現している。本日はタレントのダンカン氏が同所を訪問し、代表の人柄に触れた。

――まずは、椎名代表の歩みから伺います。社会に出て初めて就かれたお仕事は、建築業だったのでしょうか。

はい。親戚が千葉県で設計事務所をしていたことから、高校卒業後にそちらに入り、現場監督として働き始めました。しかし、現場を見ていると、自分も施工に携わりたいという思いが芽生えてきて、大工に転身したんです。

――どんな親方に師事したのでしょう？

地元でも名の通った親方のもとで、基本的な技術を学ばせてもらいました。しかしながら、その方の手掛けた家は立派で素晴らしいのですが、昔ながらの家づくりのため、今の時代には合わない部分もあり、より最新の設備を備えた住居を求める方からは評価をされにくいという面がありました……。それならば、昔ながらの技術力を活かしつつ、お客様により選んでもらえるような時代に合った家づくりをしたいと思うようになり、一通りの技術を手に入れた後、その親方のもとを離れ、別の工務店に移ったんですよ。

――代表の吸収意欲の高さが窺えますね。そちらではどのような経験を？

移った工務店は技術はもちろん経営力の高さも有名で、外断熱壁や空調機器などの時代に合ったものもきちんと取り入れていました。ですから、住み心地を重視した家づくりの技術、そして売上や利益などの経営的な要素にいたるまで学ぶことができましたね。

――様々な経験を経て、幅広い技術や知識を培ってきたわけだ。独立はいつされたのでしょうか。

31 歳の時です。知り合いの精肉店さんが、「独立するなら家を建ててほしい」と声を掛けて下さったことがきっかけでした。嬉しい反面、責任も大きく怖かったですが、せっかくいただいたお話でしたので、挑戦させてもらったんですよ。

――独立後、初めて手掛けられたということで、特に印象に残っているんじゃないですか。

はい。80 坪ほどの店舗兼住宅を建てたのですが、全て私 1 人で施工したので、朝から夜遅くまで、半年も掛かりましたね。しかし、その分自信につながりましたし、精肉店の売上も上がったそうで、喜んでいただけました。それからも地道に仕事を続け、ようやく新築の依頼をいただけるようにもなってきましたね。

―― 一つひとつの仕事に真摯に向き合っている姿勢が窺えます。御社の売りとは、どのようなところでしょう。

様々な現場で培ってきた技術でしょうか。だからこそ当所では昔ながらの技術を用いた建築はもちろん、設備の整った住み心地の良い建築など、時代とお客様の要望を的確に見極めた家づくりができると自負しています。

――お話は尽きませんが、最後に代表の抱負をお聞かせ下さい。

施工の質を高め、お客様の要望に応えていくためには、昔ながらの大工のような、機械を揃えた作業場での材料加工が欠かせません。そのため、私は作業場を持ち、環境を整えました。これからも昔ながらの技術は守っていきつつ、時代に合った建築を行うことで、よりお客様に喜んでもらえる大工でいたいですね。

（取材／ 2018 年 1 月）

ゲスト　ダンカン

「何よりもものづくりが好きだという椎名代表は、現在文化財を守る活動も行っているそうです。昔の技術と今の技術を身に付けられている代表には、これからも施工の依頼が絶えず寄せられるでしょうね」

© 2018 KOKUSAI-TSUSHINSHA Co.,Ltd.